

第71回全国植樹祭会場決定にかかる知事の発表内容

平成32年春期開催の全国植樹祭の開催会場について、公益社団法人国土緑化推進機構との協議が整い、正式に決定したので発表します。

会場候補地の選定に当たっては、戦後の荒廃した国土を、緑化を通じて守っていく国土緑化運動のシンボリックな取組として始まった全国植樹祭の開催意義、必要な会場面積や植樹場所が確保できること等を考慮いたしました。

さらに、本県は「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業を推進しており、この取組みを全国にアピールするという開催理念に沿った大会としたいと考えており、そのような観点で検討してまいりました。

まず、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、両陛下によるお手植え、お手播き等の行事が行われる式典会場については、豊かな森林資源を擁し、式典会場周辺で収穫した木材を同会場で利用しながら再び植林するという、循環型林業のモデルを実践できる「大田市三瓶山北の原」とすることといたします。

また、参加者の記念植樹会場については、式典会場の周辺から今後選定してまいります。

引き続き、国土緑化推進機構の皆様方と協力し、全国から参加いただく多くの方々に、本県の循環型林業の実現に向けた取組や、森林とともに育んできた文化・歴史など本県の様々な魅力にも触れていただける、島根ならではの全国植樹祭を作り上げてまいりたいと考えておりますので、関係機関・団体、県民の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

国土緑化推進機構 前田副理事長発表内容

平成32年春に島根県での開催が決定されている第71回全国植樹祭につきましても、溝口知事をはじめ県ご当局のご尽力に対しまして、改めて心から感謝申し上げます。

会場につきましては、昨日、現地に出向き調査させて頂き、先程、知事と協議いたしました。その結果、只今、知事から発表されたとおり、式典及び植樹会場は大田市三瓶山北の原とすることに異議なく同意したところであります。

国土緑化推進機構といたしましても、これまで同様、島根県とともに、第71回全国植樹祭の成功に向け全力を挙げて取り組んで参りたいと存じます。

どうか、今後とも、よろしくご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。